

地域中小企業応援ファンド  
令和3年度 ふくいの逸品創造ファンド事業

事業計画書等の  
記入方法について

令和3年8月



# <目次>

- <1> 事業計画書(申請書)の作成手順
- <2> 提出書類
- <3> 申請書類の入手方法
- <4> 事業計画書作成のポイント
- <5> 各様式(別紙)の記入方法について
- <6> 事業計画時の注意点(経費配分)

# 〈1〉 事業計画書（申請書）の作成手順

## 1. 事業計画書の作成

- ・事業内容
- ・実施スケジュール作成
- ・必要な費用算出
- ・今後5年間の経営計画の作成



## 2. 金融機関・商工団体等と連携し、事業計画書内容のブラッシュアップ



## 3. 意見書の発行（商工団体等より）



## 4. 申請書類の提出（令和3年9月30日（木）17時必着）

提出先 （公財）ふくい産業支援センター 経営支援部  
〒910-0296 坂井市丸岡町熊堂3-7-1-16

## <2> 提出書類-1/4

### 作成が必要な書類

- |                          |       |
|--------------------------|-------|
| ① 助成金交付に関する事業計画書         | …様式第1 |
| ② 事業実施事業者等の概要            | (別紙1) |
| ③ 事業実施計画書                | (別紙2) |
| ④ 収支予算積算内訳               | (別紙3) |
| ⑤ 県税の納税状況の確認について         | (別紙4) |
| ⑥ 事業承継診断票【代表者が満60歳以上の場合】 | (別紙5) |
| ⑦ 意見書                    | …様式第2 |

金融機関および商工会議所・商工会で作成してもらってください

上記様式は、ふくい産業支援センターのホームページからダウンロードできます。 <https://www.fisc.jp/>

## <2> 提出書類-2/4

### ⑧ 法人：履歴事項全部証明書

(またはこれに準ずるもの。応募日以前3か月以内に発行。ただし、別紙1において法人番号を記載する場合は、提出不要。)

### 個人：住民票

(応募日以前3か月以内に発行、マイナンバー不要)

### ⑨ 法人：直近3期分の決算書資料

(損益計算書、貸借対照表、勘定科目内訳明細書)

### 個人：直近3期分の確定申告書(第一表、第二表、 収支内訳書(1・2面))

(または所得税青色申告決算書(1～4面))

(または開業届(開業後、最初の確定申告を終わっていない場合))

\*収支内訳書がない場合は、  
貸借対照表および損益計算書(直近3期分)を作成し提出

## <2> 提出書類-3/4

- ⑩ **法人：直近の確定申告書別表二**  
(同族会社の判定に関する明細書)
- ⑪ **県税に滞納がない旨の証明書**  
(応募日以前1か月以内に発行)  
または県税の納税状況の確認について(別紙4)
- ⑫ **審査における加点を希望する場合に必要な書類**
  - 【事業継続計画(BCP)を策定している場合】
    - ・BCPの写し(計画期間内のものに限る)
  - 【経営革新計画の承認を受けている場合】
    - ・県からの経営革新計画の承認通知の写し  
(計画期間内のものに限る)
- ⑬ **会社概要のわかるもの(パンフレット等)**



# <3> 申請書類の入手方法-1/3

① 支援センターHPにアクセスする <https://www.fisc.jp>

② “補助金”のマークをクリックする

The image shows a screenshot of the website for the Fukui Industrial Support Center (FISC). The header includes the contact number 0776-67-7400 and a search bar. The main navigation menu contains links for Home, Center Overview, Access, and Inquiries. Below the navigation is a grid of service icons: '補助金' (Subsidy), 'ベンチャー・創業' (Venture/Startup), '研修' (Training), '取引拡大' (Sales Expansion), 'デザイン・商品開発' (Design/Product Development), '専門家相談' (Expert Consultation), '技術開発' (Technology Development), and 'IT'. The '補助金' icon, which depicts a blue money bag with a yen symbol, is circled in red. Below the grid is a large banner for '総合相談窓口' (General Consultation Window) and a sidebar with 'センター活用事例' (Center Usage Examples) featuring 'WA.babywrap' and 'えいごハウスplus'.



# <3> 申請書類の入手方法-2/3

## ③ “中小企業向け” をクリックする

The screenshot shows the website of the Fukui Industrial Support Center (FISC). At the top, there is a blue header with the phone number 0776-67-7400 and a search bar. Below the header, the FISC logo and name are displayed. A navigation menu includes links for Home, Center Overview, Access, and Contact. A secondary menu lists various services: Specialist Consultation, Subsidies, Venture Creation, Research, Market Expansion, Design/Development, Technology Development, and IT. The main content area features a large banner for '補助金' (Subsidies) with a background image of a person standing on a calculator. Below the banner, a breadcrumb trail reads 'トップページ > 補助金'. The main heading is '中小企業・創業者の事業展開を、資金面でバックアップ！' (Supporting business expansion of SMEs and entrepreneurs with funding!). Below this, a row of buttons is shown: '中小企業向け' (For SMEs), '創業者向け' (For Entrepreneurs), '新着情報' (New Information), and 'カレンダー' (Calendar). The '中小企業向け' button is circled in red. Below the buttons, there is a section for 'ITビジネスマッチング推進事業補助金' (IT Business Matching Promotion Project Subsidy) with a brief description of the program.

# <3> 申請書類の入手方法-3/3

## ④ “【新】ふくいの逸品創造ファンド事業(H30～) 令和3年度” をクリックする

専門家相談 補助金 ベンチャー創業 研修 取引拡大 デザイン・商品開発 技術開発 IT



### ■ 5G通信環境を活用した実証事業補助金（2次募集）

今後、市場の拡大が見込まれる第5世代移動通信システム（5G）を活用した新しい製品やサービスの開発に要する経費の一部を補助することにより、将来を見据え新ビジネスへの挑戦を支援します。



### ■ 【新】ふくいの逸品創造ファンド事業（H30～） 令和3年度

県内の中小企業者等が、繊維産業、眼鏡産業といった地場産業をはじめとする地域の産業が培ってきた技術、海山の豊かな農林水産物、歴史伝統など地域の特色ある観光資源等の「ふくいの強み」を活かした商品開発や販路開拓事業について、その費用の一部を助成します。

# 〈4〉 事業計画書作成のポイント

どんな商品か、どこが新しいか、なぜ売れるか、  
いかに実現するかなど、理解してもらおう

審査委員には、様々な業種、業界の方がいます。  
皆さんに理解してもらうためには、以下の点を心がけてください。

## ■ わかりやすく書く

- 事業内容を簡潔に
- 専門用語や難解な表現はだめ
- 図表や写真などを効果的に

## ■ ストーリーを持って

- なぜ始めようと思ったのか
- 誰が、いつ、何を
- どこを目指すのか

## ■ 熱意を前面に

- 必要な資料は揃えておく
- よい点はどんどんアピール
- 補助なしでも実施の意気込みを

# 〈5〉 各様式(別紙)の記入方法について

## 作成が必要な書類

- ① 助成金交付に関する事業計画書 ……様式第1
- ② 事業実施事業者等の概要 (別紙1)
- ③ 事業実施計画書 (別紙2)
- ④ 収支予算積算内訳 (別紙3)
- ⑤ 県税の納税状況の確認について (別紙4)
- ⑥ 事業承継診断票【代表者が満60歳以上の場合】 (別紙5)
- ⑦ 意見書 ……様式第2

# ①助成金交付に関する事業計画書(様式第1) -1/2

様式第1

(11助成

提出日

(令和3年8月23日～9月30日)

助成金交付に関する事業計画書

年 月 日

公益財団法人ふくい産業支援センター  
理事長 様

申請者

郵便番号

住 所

事業者名

代表者名

担当者氏名

連絡先 TEL:0776-00-0000 FAX:0776-00-0000  
E-mail:

担当者連絡先は  
電話・FAX・E-mailを  
記載ください。

ふくいの逸品創造ファンド事業助成金交付要領1-1の規定により、助成金の交付を希望  
しますので、下記のとおり事業計

【地域資源】を活用した新商品/新サービスの開発  
および販路開拓事業(イメージできるように)

1 事業名

2 事業実施期間

年 月 ~ 年 月

令和3年11月  
(予定交付決定月)

令和4年10月 (原則12か月以内)

# ①助成金交付に関する事業計画書(様式第1) -2/2

2 事業実施期間 いずれかにチェック✓ 年 月

3 当該事業において活用する  
 産品・産業技術等(地域資源)  
 の区分

<input type="checkbox"/>	農林水産物
<input type="checkbox"/>	鉱工業製品またはその製造・加工技術
<input type="checkbox"/>	文

該当する産業資源(例:らっきょう)の名称を記入ください。交付要領の別表1(産業資源344件)の名称

4 具体的産品・産業技術等の名称

5 事業実施計画 別紙2のとおり

6 事業に要する経費

(1) 事業費総額	金	4,088,000	円	}	別紙3《支出欄》の 金額を転記ください。 (1) 事業費の総合計 (2) 事業費の合計(助成対象) (3) 助成希望額の合計 (5) 助成対象外経費
(2) 助成対象経費	金	4,088,000	円		
(3) 希望する助成額	金	2,000,000	円		
(4) 助成対象経費の配分および積算		別紙3	のとおり		
(5) 助成対象外経費総額	金		〇円		
(6) 助成対象外経費総額の負担方法		自己資金・借入金・その他	( )		

7 助成金の支払いを必要とする時期 令和4年 11月

8 添付書類

事業期間終了月が「10月」の場合、その翌月「11月」を記入ください。

(5)の助成対象外経費がある場合は、負担方法を選び、〇または記載ください。0円なら、「その他(なし)」を記載ください。

## ②事業実施事業者等の概要(別紙1) -1/2

(別紙1)

(1 1 助成金の交付決定の手続き)

### 事業実施事業者等の概要

+

1. 事業者等の名称												
2. 法人番号 ※法人の場合のみ記載												
3. 所在地												
4. 代表者名	(役職) (氏名) (年齢※申請時点)											
5. 設立年月日												
6. 資本金または出資額	千円											
7. 常時使用する従業員数	※法人：役員・パートは除く 名 ※個人：事業主本人・同居家族・パートは除く											
8. 業種												
9. 現在の主な取扱製品またはサービス内容	1. 2.											
10. 最近の決算状況 (単位：千円)  (3期分の決算状況を新しい期順に記入ください。 諸経費=売上高-営業利益)	区分	直近	1期前	2期前								
	売上高											
	諸経費											
	減価償却費											
	当期純利益											
11. 過去3年以内の												

代表者が満60歳以上の場合は、事業承継診断票(別紙5)の作成・提出が必要です。

諸経費  
= 売上高 - 営業利益

個人事業者の場合は、青色申告決算書の45所得金額を記載ください。

## ②事業実施事業者等の概要(別紙1) -2/2

諸経費 = 売上高 - 営業利益		
11. 過去3年以内の公的制度の利用実績		公的制度(補助金名)を記載ください。 実績がない場合は、「なし」と記載ください。
12. 活用しようとする産品・産業技術等(福井の強み)の区分		会社概要(事業の推移、経歴など)を記載ください。 また、これまでの事業の中で、今回活用する地域資源と関連のある事業をされている場合は、その内容(開始時期や実績など)について簡単に説明してください。
13. 上記産品・産業技術等(福井強み)とのこれまでの関わり 従来事業や地域の中での関わりを記入ください。		
14. 支援を受ける経営革新等(策定)支援機関名		意見書(様式第2)に記載する支援機関名 金融機関(福井・福邦銀行、福井・敦賀・小浜・越前信用金庫) および 県内の商工会議所・商工会
15. 審査 加点 項目	BCP策定状況	策定済 策定予定(月頃)・未策定
	経営革新計画の承認状況	承認済・承認予定(月頃) 未承認

有無を記入ください。

- ・BCPの写し(計画期間内のものに限る)
- ・県からの経営革新計画の承認通知の写し(計画期間内のものに限る)



# ③事業実施計画書(別紙2) -1/7

(別紙2)

(1.1 助成金の交付決定の手続き)

事業者名を忘れずに記載ください。

事業者名

事業実施計画書

1 事業名

事業計画書(様式第1)の事業名と同じ

2 産品・産業技術等

(1) 活用する産品・産業技術等(地域資源)の名称

事業計画書(様式第1)の「4具体的産品・産業技術等の名称」と同じ  
交付要領の別表1(産業資源344件)の名称

(2) 新たな活用の視点

## チェックポイント!

- ・産業資源の強みがどう活かされていますか?
- ・新たな活用方法について従来との違いは?
- ・商品・サービスに新規性がありますか?
- ・県内に類似のものはありますか?

# ③事業実施計画書(別紙2) -2/7

2 産品・産業技術等

(1) 活用する産品・産業技術等(地域資源)の名称

+

+

(2) 新たな活用の視点

+

+

(3) 現状での周知度

(新聞、テレビなどのマスコミで取り上げられた事例数や当該地域での知名度の度合いを記入してください。)

+

+

新聞、テレビなどのマスコミで取り上げられた事例数や当該地域での知名度の度合いを記入してください。

## チェックポイント!

事業で活用する産業資源がマスコミで取り上げられた事例や、市・町での特産物指定、農林水産組合での生産、加工などの推奨指定を受けていることなど。

(新聞記事の切抜きなどがあれば添付)

# ③事業実施計画書(別紙2) -3/7

2 産品・産業技術等

(1) 活用する産品・産業技術等(地域資源)の名称

(2) 新たな活用の視点

(3) 現状での周知度

(新聞、テレビなどのマスコミで)

3 事業の目的

4 事業の実施方法

(1) 事業の構成内容(回数)

## 3 事業の目的

< なぜこの事業に取り組むのかについて >

御社の現状・経営環境の説明



今回の事業に取り組むに至った経緯(きっかけ)



産業資源を使った新商品・新サービスの概要



最終的な目標・目的を記載してください。

申請者の事業に対する「熱意」「想い」が伝わるように！

# ③事業実施計画書(別紙2) -4/7

## 4 事業の実施方法

### (1) 事業の構成内容 (回数)

#### ①事業の実施内容

#### ②新商品・サービスの概要

#### ③新規性・革新性

#### ④顧客市場ニーズ

#### ⑤実施体制・実現可能性

### ①事業の実施内容

商品開発、販路開拓等について助成事業で実施する  
**主な**取り組みの**内容**と、その**目的**が**網羅的に**まとめて  
記載されているか。

### ②新商品・サービスの概要

新商品・サービスの**特徴や強み**は何か？

新商品や新サービスがもつ他と**差別化できるポイント**

は何か？

特徴や強みを生み出すために**産業資源がどのように**  
**活かされている？**

### ③新規性・革新性

**作り手であるご自身からみた商品の良さを**、とにかく熱く、たくさん書いて  
みてください。また、今回の商品・サービスが、既存の商品と比べて、  
どのような点が**新しい**のか、どのような点に**工夫がされている**のかな  
どについて具体的に記入してください。

### ③事業実施計画書(別紙2) -5/7

#### 4 事業の実施方法

##### (1) 事業の構成内容 (回数)

①事業の実施内容

②新商品・サービスの概要

③新規性・革新性

④顧客市場ニーズ

⑤実施体制・実現可能性

#### ④顧客市場ニーズ

1. 対象とする市場や顧客について、市場性があると考える根拠は？(書籍、新聞記事、統計データ等を使って客観的な視点から)
2. 新商品・サービスが市場のニーズから生まれたものである場合、顧客や市場からのどんなニーズをどのように把握したのかが記載されていますか？

#### ⑤実施体制・実現可能性

1. 実施する業務内容と、関わる関係者のそれぞれが担う役割を記載ください。
2. 商品開発や販路開拓の実施過程で必要な支援等をどのように手立てするのも具体的に記載ください。

◎助成事業を実施する上で、必要な実施体制は構築出来ていますか？

◎困難に直面した場合や計画に遅れが出た場合の対応を検討していますか？

# ③事業実施計画書(別紙2) -6/7

(2) 試作品製作、販路開拓先について

① 試作品製作や販路開拓の時期

② その方法

記入例

番号	項目名	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
1	市場調査	→	→										
2	デザイン設計		→	→									
3	A商品試作品製造				→	→							
4	〇〇展示会出展						○						
5	A商品改良品製造							→	→				
6	◇◇展示会出展									○			

スケジュール

項目は同じ

番号	項目名	その内容、方法など
1	市場調査	調査会社〇〇に委託し、××市場の傾向を調査
2	デザイン設計	デザイン会社と共同で実施
3	A商品試作品製造	自社内で製造
4	〇〇展示会出展	会場：東京〇〇 □□展示会 試作品
5	A商品改良品製造	自社内で製造
6	◇◇展示会出展	会場：東京〇〇 □□展示会 新商品のPR・販路開拓

具体的に  
何をやる！

# ③事業実施計画書(別紙2) -7/7

## 5 期待される事業成果

目標とする売上計画や地域経済での波及効果（雇用、生産量や利用者の増大など。）

### ◎波及性

助成事業を実施することにより、その地域において当該地域資源を利用する事業者の増加の可能性や雇用の拡大など、地域経済に及ぼす効果として期待できる見込みについて記載ください。

### ◎継続性

助成期間終了後の展開について、商品開発や販路開拓の計画をできるだけ具体的に記載ください。

### ◎成長性

今後、助成事業により貴事業所で、どの程度の成長を見込んでいるか具体的に記載ください。（助成期間終了後、1年目～3年目までの売上・利益見込について目標値をあげながら）

# ④収支予算積算内訳(別紙3) - 1/2

(別紙3)

(1 1. 助成金の交付決定の手続き)

事業者名

事業名:

## 収支予算積算内訳

### 《収入》

例:[1]新商品・新サービスの開発から販路開拓までの事業

区 分	金 額	説 明
事業助成金	2,000,000円	支出の総合計「助成希望額」
自己資金	288,000円	事業に充てる自己資金の金額
借 入 金	1,800,000円	借入予定の金融機関・支店名および資金 用途など
そ の 他	0円	自己資金、借入以外の資金調達を行う場 合、その調達方法など
合 計	4,088,000円	支出の総合計「事業費」と同額となる



# ④収支予算積算内訳(別紙3) -2/2

《支出》

事業費は税抜き

例:[1]新商品・新サービスの開発から販路開拓までの事業

経費区分	経費項目	事業費	助成希望額	経費の積算	
助成対象	新商品開発事業	資材購入費	383,000円	191,000円	@12,000×20kg=240,000円 @14,300×10kg=143,000円
		外注加工費	250,000円	125,000円	〇〇加工 @50,000×5回
		試作用機械購入費	840,000円	420,000円	機械A 600,000円/機械B 240,000円
		委託料	75,000円	37,000円	試食会 調査依頼
		小計	1,548,000円	773,000円	
		経費	販路開拓事業	従業員旅費	370,000円
会場借料	820,000円			410,000円	展示会出展費用 2回
会場整備費	210,000円			105,000円	@105,000×2回
広告宣伝費	70,000円			35,000円	雑誌掲載 @35,000×2回
ホームページ作成費	1,070,000円			492,000円	
小計	2,540,000円			1,227,000円	
合計		4,088,000円	2,000,000円		
助成対象外経費		0円			
総合計		4,088,000円	2,000,000円		

例:中小企業の場合  
(助成率1/2以内)

助成希望額は、千円未満切り捨てとし、総合計が200万円以下になるように。

# ⑤ 県税の納税状況の確認について(別紙4)

(別紙4)

## 県税の納税状況の確認について

私は、ふくいの逸品創造ファンド事業助成金の活用に当たり、福井県の県税事務所等が、福井県産業労働部創業・経営課に対し、私の福井県への納税状況に関する情報を提供することに同意します。

令和 年 月 日

※申請者が法人の場合は法人名、団体の場合は代表者氏名を記載

[フリガナ]

法人名

[フリガナ]

代表者名

所在地

福井県知事 杉本達治様

\*納税状況の確認に関する事項

本同意書に基づき提供された納税状況は、ふくいの逸品創造ファンド事業助成金の事務以外には使用いたしません。

※福井県担当者記入欄

上記の者の令和 年 月 日現在の県税の納税状況については以下のとおりです。

滞納なし

滞納あり

徴収猶予あり

受付印

回答事務所  福井県税事務所  嶺南振興局税務部

### 法人の場合

法人名、代表者役職・氏名、所在地  
をご記入ください。

### 団体・個人の場合

代表者氏名、個人の住所  
をご記入ください。

県税の納税証明書を添付され  
ない場合、ご提出ください。

# ⑥事業承継診断票(別紙5)

(別紙5)

事業承継診断票

企業名: \_\_\_\_\_ 取扱い支援機関名: \_\_\_\_\_

**事業承継ヒアリングシート**

経営者の年齢: \_\_\_\_\_ 歳 業種: \_\_\_\_\_

従業員数: \_\_\_\_\_ 人 売上: \_\_\_\_\_ 百万円

Q1 会社の10年後の夢について語り合える後継者候補はいますか。..  
 ①はい ⇒それは誰ですか【氏名: \_\_\_\_\_】・ ②いいえ..  
 ※【①はい〜〇〇〜〇〇】【②いいえ〜〇〇〜〇〇をお答えください。】

Q2 候補者本人に対して、会社を託す意思があることを明確に伝えましたか。..  
 ①はい ・  ②いいえ..  
 ※【①はい〜〇〇〜〇〇】【②いいえ〜〇〇〜〇〇をお答えください。】

Q3 候補者に対する経営者教育や、人脈・技術などの引継ぎ等、具体的な準備を進めていますか。..  
 ①はい ・  ②いいえ..

Q4 役員や従業員、取引先など関係者の理解や協力が得られるよう取組んでいますか。..  
 ①はい ・  ②いいえ..

Q5 事業承継に向けた準備(財務、税務、人事等の総点検)に取りかかっていますか。..  
 ①はい ・  ②いいえ..

Q6 事業承継の準備を相談する先がありますか。..  
 ①はい ⇒それは誰ですか【相談先氏名・名称 \_\_\_\_\_】・ ②いいえ..

Q7 親族内や役員・従業員等の中で後継者候補にしたい人材はいますか。..  
 ①はい ・  ②いいえ..  
 ※【①はい〜〇〇〜〇〇】【②いいえ〜〇〇〜〇〇をお答えください。】

Q8 事業承継を行うためには、候補者を説得し、合意を得た後、後継者教育や引継ぎなどを行う準備期間が、..  
 必要ですが、その時間を十分にとることができますか。..  
 ①はい ・  ②いいえ..

Q9 現在までに後継者に承継の打診をしていない理由が明確ですか。(後継者がまだ若すぎる など)..  
 ①はい ・  ②いいえ..

Q10 事業を売却や譲渡などによって引継ぐ相手先の候補はありますか。..  
 ①はい ・  ②いいえ..

Q11 事業の売却や譲渡などについて、(1)相談する専門家はいますか。(2)実際に相談を行っていますか。  
 (1)相談する専門家はいますか。..  
 ①はい ⇒それは誰ですか【相談先氏名・名称 \_\_\_\_\_】・ ②いいえ..  
 (2)実際に相談を行っていますか。 ..  
 ①はい ・  ②いいえ..

代表者が満60歳以上の場合は、作成・提出が必要です。

アンケート形式になっております。はい、いいえの欄に○をしてください。

Q3～Q6で1つ以上「②いいえ」と回答した方・・・円滑に事業承継を進めていくために、事業承継計画の策定による計画的な取り組みが求められます。  
 Q8～Q9で1つ以上「②いいえ」と回答した方・・・企業の存続に向けて、具体的に事業承継についての課題の整理や方向性の検討を行う必要があります。  
 Q10～Q11で1つ以上「②いいえ」と回答した方・・・事業引継ぎ支援センターにご相談ください。

# ⑦意見書(様式第2)

様式第2

年 月 日

意見書

支援機関名  
代表者

年度ふくいの逸品創造ファンド事業にかかる  
の申請についての意見は、下記のとおりです。(代表取締役)

記

1 支援機関としてのコメント

項目	コメント
新規性 革新性	
顧客市場 ニーズ	支援機関としての見解
実現可能性 組織体制	
地域経済への波及性	

・各項目について「あり」または「問題ない」と判断する理由等について簡単にコメントしてください。

2 支援体制

支援機関名(金融機関)	支援業務担当者 役職名 氏名
支援機関名(商工会議所・商工会)	支援業務担当者 役職名 氏名

意見書を作成する支援機関(金融機関または商工会議所・商工会)が記名ください。

受付最終日間近は混み合いますので、早めに支援機関にご相談ください。

金融機関(福井銀行、福邦銀行、福井信用金庫、敦賀信用金庫、小浜信用金庫、越前信用金庫)および県内の商工会議所・商工会の両方の担当者の記名が必要です。

# <6> 事業計画時の注意点(経費配分)

本年度の助成対象事業は2つです。

## 【1】新商品・新サービスの開発から販路開拓までの事業

事業期間: 交付決定日より24か月以内

助成金額: 200万円(上限)

⇒「新商品開発」と「販路開拓」の両方を実施すること。

⇒「新商品開発」と「販路開拓」の両方の経費を計上すること。

## 【2】直近3年以内に開発した商品や開始したサービスの 販路開拓事業

事業期間: 交付決定日より12か月以内

助成金額: 100万円(上限)

助成対象外経費(消費税、飲食費、据付(撤去)工事費、運搬諸経費、保守管理費など)にご注意ください。

**お気軽にお問い合わせください**

**(公財)ふくい産業支援センター  
経営支援部 資金支援グループ  
電話:0776-67-7406**

